人交密度向上プロジェクト

1 プロジェクトの概要

第4次産業革命技術を活用して、岩手県の地域や人々と多様に関わる「関係人口」の質的・量的な拡大を図り、これらを通じて世界中がいつでも、どこでも岩手県とつながる社会を実現し、**関係人口の継続的かつ重層的なネットワーク形成などによる「人交密度」の向上**を目指す。

※人「交」密度：短期的な交流人口のほか、長期的な定住人口につながる地域や地域の人々と多様に関わる者でもある「関係人口」について、「人数（量的）」と「関係の強さ（質的）」の両面に着目し、用いた言葉。

2 これまでの取組状況

県及び市町村が連携して情報共有や施策検討を行う「岩手つながり創造本部」を設置。

3 令和4年度の具体的な取組

【取組の方向性】
ゾーンプロジェクトとの一体感のもの、岩手に関心を持つ、訪れる、関わる、拠点を持つ等、様々な形での岩手とのつながりを深める取組を展開。

1 いつでも岩手につながることができる環境の整備

これまでの取組状況

- ■ Facebookページ「いわてのわ」を用いた効果的な情報発信
- ■岩手に関する投稿を促進するSNSキャンペーンの展開
- ■ VTuber等を活用した効果的・戦略的な売込み活動を展開
- ■就職情報マッチングサイトの運用や、移住定住イベントの開催

令和4年度の具体的な取組

- ■ 県・市町村等の関係人口創出・拡大に資する情報を「いわてのわ」で一元的に発信
- ■「いわて暮らしアンバサダー」による、働き・暮らす場としての岩手県の魅力の効果的な発信
- ■若年層向けにVTuber「岩手さちこ」を活用して本県の多彩な魅力を発信
- ■県外大学生等を対象としたお試し就業・居住機会の提供
- ■就職のマッチング支援において新たにAIを活用
- ■海外において、短編動画を活用した本県の観光情報をSNSで発信
- ■県内の若者団体の活動促進と情報発信により、県内外の若者団体同士のつながりを創出
- ■映像等を活用した情報発信や海外学生と本県学生との交流を実施

岩手さちこ

2 様々な主体の参画によるネットワークを形成

これまでの取組状況

- ■地域おこし協力隊の受入拡大、活動充実及び任期終了後の県内定着に向けた取組を実施
- ■首都圏人材等が地域に直接関与するためのプログラム開発を支援
- ■これまでの復興の取組状況と支援への感謝を広く発信

令和4年度の具体的な取組

- ■地域おこし協力隊等OB・OGを核としたネットワーク等と連携し、地域おこし協力隊の受入拡大、活動充実及び任期終了後の県内定着に向けた取組を実施
- ■地域外の方が地域と関わる「ふるさと納DAY」、「助っ人STAY」の仕組みを構築
- ■復興の理念を継承し、『さんりく音楽祭2022』を沿岸地域で開催
- ■生産者・料理人・ジャーナリスト等と連携し、三陸の食の魅力を発信

3 ICTを活用したライフスタイルに合わせた働き方、地域貢献活動など多様な交流の場の創出

これまでの取組状況

- ■首都圏等人材と県内企業等との複業マッチングを促進
- ■ローカル5G等を活用した地域課題解決モデルの構築

令和4年度の具体的な取組

- ■首都圏等人材と県内企業等との複業マッチングを促進
- ■就農や農村での暮らしに関する情報発信、体験モニター企画による農村体験機会の提供
- ■ローカル5G等を活用した東日本大震災津波伝承館と県外を結んだ遠隔見学の実証

4 今後の取組方向

- 情報通信技術(ICT)や人工知能(AI)を積極的に活用し、いつでも、どこでも岩手につながる環境を生み出し、地域内外の人々の新たな関係を創出
- 地域の祭りや特産品開発など地域活性化に関する取組に地域外から貢献したい人が積極的に参画するなど、賑わいあふれる街を創造
- クラウドファンディングやスキルシェアなど情報通信技術（ICT）を活用した仕組みを通じて、地域内外からスキルや想いを持つ人や企業が地域課題解決に対して貢献するなどの多様な交流を創出

長期的な人口減少の抑止